

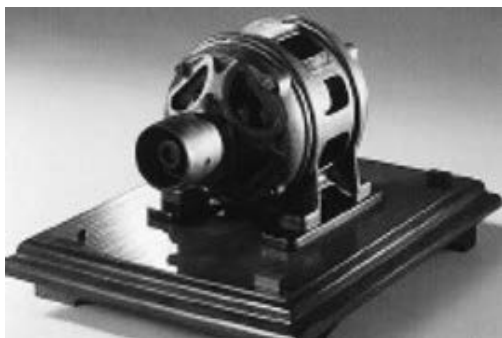
ヨネックス株式会社

1. 会社の概要

- (1) 会 員 名：ヨネックス株式会社
- (2) 所属部会：関東化学第一部会第3分科会
- (3) 資 本 金：47億660万円
- (4) 従業員数：1,785名
- (5) 事業内容：
スポーツ用品の製造及び販売, ゴルフ場の運営
- (6) 経営理念
独創の技術と最高の製品で世界に貢献する。
- (7) コーポレートロゴ



ヨネックスのマークは、ブルー&グリーン。ブルーは大空、グリーンは大地。国籍や、コトバ、顔つきが違っててもスポーツごころは同じ。ひとつでも多くの国と、ひとりでも多くのひととスポーツを通してふれ合いたいとヨネックスは願っているからコンセプトはブルー&グリーン。スポーツを愛する人へ送ります。ブルー&グリーンのさわやかさと楽しさと、きれいな汗のすこやかさ。そして、ヨネックスの心。



始まりは、1台の木工用のモーター



1946年創業当時の社屋



現在の工場

2. 知的財産部門の概要

- (1) 組織上の位置及び名称, 所在
法務室の中に知的財産課があります。
- (2) 構成及び人員
調査, 権利化から訴訟まで知財に関する全てのことを2名で行っています。
- (3) 沿革
もともとは研究開発部門の中に知的財産部門がありましたが, 2013年に法務室所属に変更になりました。

3. わが社の知的財産活動

(1) 基本方針

独創の技術とマーケティングシェアを守るために特許出願を行っています。また、ブランドを守るために商標や意匠の出願を行っております。また、模倣品対策にも力を入れています。

(2) 権利化業務

世界No.1であるバドミントン製品のシェアを守るため、また、世界トップクラスのテニス製品のシェアを拡大するために、開発部門と打ち合わせを行い根幹技術に関する特許出願を行っています。

また、商標についても、ブランドを守るために、ネーミングの検討段階からマーケティング部門、開発部門などと連携し、そして、出願を行っています。

また、意匠についても、模倣品対策の観点から、バドミントン製品を中心に積極的に行っています。

(3) 模倣品対策

バドミントン製品においては世界シェアNo.1となっています。一方で、バドミントン人気の高い国は、模倣品の多い中国、東南アジア、インドなどのアジア諸国となっています。これらの相互作用によりヨネックスのバドミントン製品の模倣品が出回っています。模倣品は、企業利益を脅かすのはもちろんですが、消費者の安全を脅かすものでもあるので、見逃すことができません。よって、多大な費用と労力をつぎ込んで、グローバルで徹底的に対策をしています。

また、模倣品に関する啓発活動にも力をいれており、JPOやJICAなどと協力して積極的に活動しています。

4. 今後の計画、希望など

今後もマーケティングシェアの拡大のために特許出願を増やすことを考えています。そのため、開発部門の若手中心に特許出願に対する教育と意識向上を行う予定です。

また、ネーミングを考える部門に対しては、商標検索方法などを教育し、自分で調べできるようにしたいと考えています。

また、模倣品対策については、ECサイトの普及や流通の進歩により、中国で対策するだけでは全く不十分になってしまいました。よって、模倣品対策を今以上にグローバル、かつ、オフラインだけでなくオンラインに展開する予定です。また、幅広く情報収集するために、営業部員の模倣品に対する意識向上も重要と考えています。

また、模倣品対策は、個社だけでは限界があるので、JIPA、JPO、JICA、IIPPF、税関、警察など関係各所が連携したオールジャパンでの活動が活発になることを期待しています。また、自らもこれらの活動に参加することで、微力ながらも貢献したいと考えています。

当然ながら、これらのことを、現在の人員だけでは難しいので、組織の拡大も考えております。



これからも感謝の気持ちで

2021年に創業75周年

(原稿受領日 2022年1月5日)